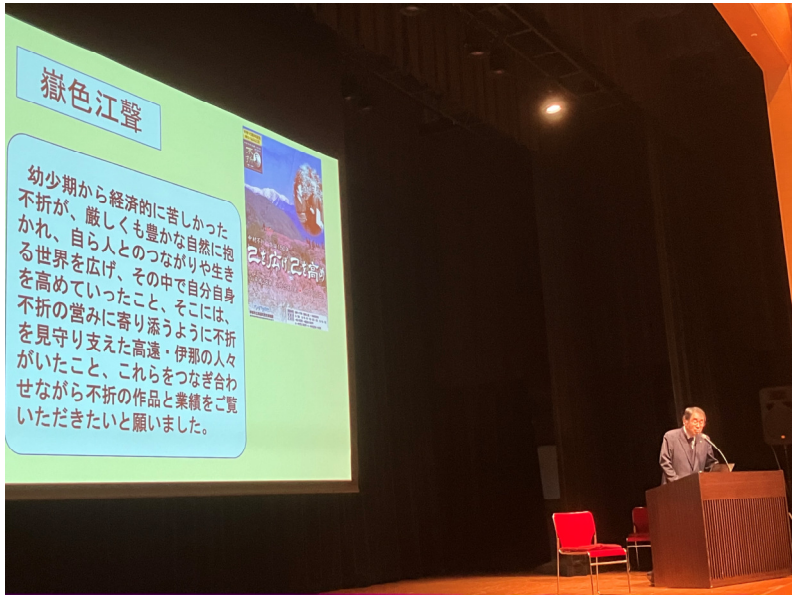


まほらいな市民大学の様子

令和6年1月23日（火）

『 中村不折を育んだ伊那・高遠の地 』

講師 まほらいな市民大学副学長 笠原 千俊 教育長



まほらいな市民大学副学長(伊那市教育長) 笠原 千俊 氏による『中村不折を育んだ伊那・高遠の地』と題しての講演がありました。

平成28年に生誕150年となった高遠出身の中村不折。その「書」や「絵画」等の作品が数多く残されており、今も商品ラベルの字や小説の挿絵、建物や墓碑の字など全国各地で見ることができます。夏目漱石や森鷗外・島崎藤村・正岡子規といった文豪や彫刻家 荻原礫山といった人たちとの親交があり、笠原教育長が長年全国各地に足を運んで数多くの資料を収集され、それらを紹介しながら中村不折を多角的にとらえての話がありました。家庭環境など恵まれていなかった中村不折が、日々努力し、自費で学んだり、作品づくりや書道博物館を建てたりしたことなど、人柄や生きざまの話。そして、伊那・高遠の人々が不折の作品を購入したり、見守り支えたりしてきたという地域の人々のあたたかさについても話されました。

学生からは「中村不折の生涯をいろいろな視点からゆっくりとした口調でわかりやすく説明していただき、たいへん面白く感じました。笠原先生の研究の視点が印象に残りました。」「偉大な画家、書道家の中村不折の思いの一端を知ることができました。特に正岡子規との出会いとやりとりの話が特に興味深かった。」「高遠町歴史博物館や特別展（お宝展）にぜひ行きたいと思った。」といった感想がありました。